

## 日本から世界へ!「質の高いインフラ」をPRしています!!

日本のインフラは「質の高さ」を強みとしています。円滑で安全な交通を支える信号システムや道路整備、防災・減災に対応した街づくりなど、高い技術力やノウハウ、環境にも優しいきめ細やかな対応が、日本の質の高いインフラを支えています。

国土交通省では、インフラシステムの海外展開を強力に推進するため、①トップセールスの展開などによるプロジェクトの初期段階からの参画・情報発信、②ビジネスリスクの軽減、③ソフトインフラの展開と人材育成を三本柱として、積極的な取り組みを行っています。

今回は、①の柱より、日本の「質の高いインフラ」を国内から世界に広く発信するため、産官学が連携して取り組んでいるインフラツアーを紹介します。

### 在京大使館に向けた取り組み シティ・ツアーの開催

国土交通省では、外務省と連携して、情報発信力の高い各国在京大使館に「質の高いインフラ」を紹介するシティ・ツアーを開催しています。シティ・ツアーでは、日本のインフラ技術や関連制度を紹介するとともに、インフラ視察を通じて、「質の高いインフラ」への理解促進につなげています<sup>\*1</sup>。

### アフリカ在京大使館向けシティ・ツアー

**本年  
5月開催**

アフリカ・インフラ協議会<sup>\*2</sup>と協力してシティ・ツアーを開催し、民間企業の最先端の技術や取り組みなどを紹介しました。15カ国24名(うち在京大使5名)が参加し、信号システムの生産現場や世界最大級の地下放水路である「首都圏外郭放水路」を視察されました。また、在京アフリカ大使などと協議会会員との意見交換も行い、参加大使からはインフラ分野における日・アフリカ間の協力関係の強化に向けて、国土交通省および協議会に対して、日本企業のアフリカ進出を率いるエンジンの役割を果たすことへの期待が示されました。



首都圏外郭放水路の視察



交通信号実機のデモンストレーション

### ASEAN在京大使館向けシティ・ツアー

**本年  
7月開催**

ASEAN創設50周年を記念したシティ・ツアーを開催し、ASEAN諸国9カ国22名(うち在京大使5名)が参加されました。藤井国土交通大臣政務官(当時)と活発な意見交換を行い、日本への信頼性などから、今後のASEAN地域でのインフラ建設やオペレーションなどにおける貢献について期待が示されました。また、東京メトロ総合研修訓練センターと首都高交通管制室を視察され、高い関心が寄せられました。



東京メトロ総合研修訓練センターの視察



首都高交通管制室の視察

### 日本の大学で学ぶ留学生に向けた 産官学コラボの取り組み 「ニッポンの社会基盤(インフラ)に関する 留学生のための特別サマーセミナー」の開催

#### 留学生サマーセミナー「水と大地」

**本年  
8月開催**

本年8月に3日間、第5回留学生のための特別サマーセミナー「水と大地」が行われました。河川流域の最上流部から最下流部まで持続可能な森と水の保全、上水道の供給システム、砂防や流域管理を含めた治水対策、下水道システムと良好な水環境の確保などについて、技術面や政策面を総合的に学んでもらうため、東京大学、政策研究大学院大学、メタウォーター株式会社、管清工業株式会社、日本工営株式会社、サントリーホールディングス株式会社並びに国土交通省が協力して実施しました。参加者は日本の大学で学ぶ16カ国38名の留学生で、セミナーの約半分を座学に充て、残りを相模川水系の宮ヶ瀬ダム、鶴見川の総合治水対策、横浜市の川井浄水場、砂町水再生センター、および東京ビッグサイトで行われた下水道展の見学に充てました。また、日本工営会長の廣瀬典昭氏が、海外インフラ事業展開の創始者の一人である久保田豊氏に関する特別講義を行いました。



宮ヶ瀬ダムの視察



東京ビッグサイトで開催された下水道展



東京メトロ社長 山村明義氏の講演

参加した留学生は熱心に受講し、極めて活発な質疑応答が行われました。また、現場や施設の見学も大変好評で、日本のインフラシステムやそれを支える制度や技術の特長や優れた点に加えて、これまでの苦い経験や苦勞にも大いに興味を示していました。

### 留学生サマーセミナー「都市鉄道と都市開発」

本年  
9月開催

本年9月に2日間、第6回留学生のための特別サマーセミナー「都市鉄道と都市開発」が行われました。これは、都市鉄道システムと都市開発について、技術面、政策面を含め俯瞰的、総合的に学んでもらうセミナーで、2015年に続いて2回目の開催です。東京大学、政策研究大学院大学、長岡技術科学大学、東日本旅客鉄道株式会社（JR東日本）、東京地下鉄株式会社（東京メトロ）、東京急行電鉄株式会社、三井不動産株式会社、海外鉄道技術協力協会並びに国土交通省が協力して実施しました。日本の12大学から計40名（うち留学生16カ国35名）が受講し、初日は東京大学にて大学研究者や民間企業の実務者による講義、2日目は東京メトロ銀座線渋谷駅の改良工事現場、東急田園都市線二子玉川駅周辺のみちづくり、東京駅丸の内駅舎およびエキナカ事業、日本橋周辺の再生計画などを見学しました。特別講義は、東京メトロ社長の山村明義氏が本年90周年を迎える東京の地下鉄の創業から今日までの歴史を語りました。



銀座線渋谷駅の改良工事現場

### 留学生サマーセミナーの始まりは？

サマーセミナーは、平成24年に国土交通省が設けた「インフラ海外展開推進のための有識者懇談会」での議論を踏まえて、同懇談会の座長であった家田仁氏（政策研究大学院大学教授・東京大学名誉教授）の提唱によって平成26年夏から始まった産官学の協働活動です。日本の大学で勉強している留学生を受講者とした社会基盤（インフラ）分野の集中セミナーコースで、本年9月までに「新幹線」および「都市鉄道と都市開発」に関して各2回、「高速道路と自動車」および「水と大地」について各1回の計6回実施しました。前掲の大学や企業などの他に、これまで東海旅客鉄道株式会社（JR東海）、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社、トヨタ自動車株式会社の各社が参加して実施し、各回40名ほどの留学生が受講して大変好評をいただいています。今後は、テーマを順次拡張するとともに、受講留学生をアルムナイ化（同窓生として扱うこと）して、日本のインフラに関する継続的な情報提供を進めていきます。

国土交通省は、今後もさまざまなチャンネルを通じて日本の「質の高いインフラ」を世界各国のインフラ整備を担う皆さんに知っていただけるよう、取り組みを続けていきます。

- ※1 平成29年7月までに計12回開催し、都市開発や鉄道・道路などのインフラを紹介。
- ※2 第6回アフリカ開発会議（TICAD6）時の「日・アフリカ官民インフラ会議」において採択された、「質の高いインフラ投資の推進のためのリーダーズ・ステートメント」などを踏まえ、昨年9月に発出した官民合同の協議会。会員は民間企業・団体156社（本年9月時点）。